AEON Magazine
Fully Global, Truly Local
Vol.50
August 2015

特集

ENJOY AEON!

～日本の魅力を世界へ～

買物百景

第十景

ニッポンの魅力

最近は日本にいながらも外国語の会話を耳にすることが多くなった。店舗ではカートに載りきらないほどたくさんのお土産を買っている人も見かける。そんななか沖縄に新しくできたショッピングモールを訪れた時のこと。楽しそうに、でもとても真剣に品定めする彼らに目を奪われていると、妻が「これからの日本を元気にしてくれるのは、海外から来てくださる方々かもしれないわね」とつぶやいた。

日本を訪れる外国人観光客は、ここ数年で急増していると聞く。その旺盛な消費活動は日本経済に活力を与えてくれるだろう。こうしたダイレクトな影響はもちろん、彼らは、私たちが考えもしなかったこの国の魅力に気付かせてくれる貴重な存在でもある。「日本を気に入って、また来たいと思ってくれるといいね」という私の言葉に、妻も笑顔でうなずいた。

Illustration by SACHIKO IKOMA

AEON Magazine Fully Global, Truly Local August 2015 Vol.50

contents

01 買物百景

02 特集

ENJOY AEON!
～日本の魅力を世界へ～

Interview “いつか”行ってみたい、から “いま”行きたい日本へ
松山良一 日本政府観光局 理事長

Introduction 外国人観光客市場への挑戦

買物環境 ワンストップで快適に

各地域での展開 日本全国で発見や喜びを

海外での情報発信 海外拠点をいかし日本の魅力をPR

13 暮らしの風流

14 AEON SUSTAINABLE ACTIVITIES 環境保全・社会貢献活動

15 GROUP NEWS

17 グループ企業一覧

Illustration by JUNICHI KISHI

ファッション分野をはじめ、幅広いジャンルで活躍するイラストレーター。特集に合わせ、魅力あふれる日本の風物を表現。

発行日：2015年8月31日
発行所：イオン株式会社
コーポレート・コミュニケーション部
〒261-8515
千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
TEL：(043) 212-6061
ホームページ：http://www.aeon.info/

この冊子はイオンの情報誌です。
Aeon（イオン）はグループの総称です。

本誌上における社外からの寄稿や発言は、必ずしも当社の見解を表明してはいません。

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022794

VEGETABLE OIL INK

特集

ENJOY AEON!

～日本の魅力を世界へ～

急激な成長を遂げるアジアを中心に海外旅行需要が拡大している。文化の理解促進、国際交流の深耕はもちろん、地域の活性化や雇用促進など大きな経済効果をもたらす“観光”。日本政府は観光ビザ発給要件の緩和や消費税免税制度の改正などを実施。観光を成長戦略の柱に据え、「観光立国」の実現を目指している。2014年の訪日外国人観光客は実に1,341万人、その消費額は前年比43%増となる2兆278億円※を超えた。今号では、新たなマーケット獲得に向けたイオンの挑戦を紹介する。

※ 観光庁「訪日外国人消費動向調査 2014年 年間値」

〝観光は日本の基幹産業である〟
という認識を持ってオールジャパンで
取り組むことが重要です。

PROFILE
松山良一
まつやま・りょういち

日本政府観光局（〔独〕国際観光振興機構）理事長。三井物産㈱に入社後、イタリア三井物産社長、米国三井物産副社長を歴任。駐ボツワナ日本国特命全権大使、南部アフリカ開発共同体日本政府代表などを経て、2011年より現職。

Interview

“いつか”行ってみたい、から“いま”行きたい日本へ

国の方針としてインバウンド対応の強化が掲げられている。今号ではその実行の中心的な役割を担う日本政府観光局理事長の松山良一氏に、訪日インバウンド市場の現状と今後の課題についてお話をうかがった。

日本を訪れてもらうために

国家ブランド指数という調査によると、世界の国々のなかで、日本のブランド力はトップクラスにランクされ※1、行ってみたい国のひとつとされています。これに対し、実際に日本を訪れる外国人の数はまださほど多くはありません※2。日本政府観光局の使命は、このギャップを埋めること。日本を〝いつか〟行ってみたい国から〝いま〟行きたい国にするべく、3つの柱で活動しています。

1つ目は、日本ブランドを高めること。最近では団体から個人へと旅行の形態がシフトしつつあり、また、旅先を決める際には口コミが重視されるという傾向があります。こうした背景から、国を越えて広く情報発信できるウェブサイトはもちろん、人と人とのつながりによる情報拡散が期待できるソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）などの活用を推進しています。2つ目は、国際会議の誘致および開催に向けた支援、3つ目は、日本国内の受け入れ環境の整備です。観光庁をはじめとした関連省庁、民間企業、地方自治体との連携のもと、最新のマーケティングデータを公開し、訪日外国人受け入れに必要なインフラから接遇に至るまで、さまざまな角度からアドバイスしています。これらの取り組みを通じ、私たちは日本のインバウンド対応の先導役としてプロモーションやマーケティング活動の進化を図っています。

観光産業の進化は地方創生にもつながる

昨年、日本を訪れた外国人観光客は1,341万人。2020年に2,000万人という目標は確実に到達できるところまで来ています。しかし、世界第1位のフランスの8,370万人という数字に鑑みると、取り組み次第で訪日客数を伸ばす余地は大きいと考えます。政府や観光産業事業者はもちろん、日本の人々すべてが、〝観光は日本の基幹産業である〟という認識を持ち、インバウンド対応に積極的に取り組むことが重要です。

注力すべき方向性は2つ。ひとつは地方でのインバウンド対応力強化です。日本各地にはすでに、観光資源としての素材は豊富に揃っています。必要なのは、それを外国人観光客の方々にも喜んでいただけるように磨き上げること。ターゲットとなる国籍や年代ごとに異なるニーズに対応していくことも必要になるでしょう。さらに、政府が進める「広域観光周遊ルート」の形成も効果的です。これは、例えばドイツの「ロマンチック街道」のようなもの。都道府県の垣根を越えてルートを設定し、テーマやストーリー性を持たせることでブランド価値を高めていこうという施策です。広域連携によって生み出される新たな魅力を、世界に向けて発信。東京や京都、大阪等に偏りがちな観光客を各地に誘致することが可能になり、地方創生にも寄与できるでしょう。

もうひとつは、観光産業のレベルアップです。旅行や宿泊業はもちろん、そこに小売、飲食、通信といった異業種が参入することで、観光産業全体のサービスの幅や質の向上につながります。特に、外国人消費額の費目別構成比※3では35%が「ショッピング」というデータもあり、小売業の積極的な参入は欠かせません。このようななか、イオンに望むことは、店舗の所在する地域と一体になり、その魅力の向上に尽力してほしいということ。同時に、海外にあるイオンの店舗でも日本の魅力を積極的に発信し、訪日につながるきっかけを提供してもらいたいですね。

※1 フューチャーブランド社「カントリー・ブランド・インデックス（国家ブランド指数）2014-2015」日本は総合ブランド第1位、観光ブランド第2位
※2 国連世界観光機関（UNWTO）および、各国政府観光局数値をもとにJNTO作成の「世界各国・地域への外国人訪問者数（2014年）」日本は第22位
※3 観光庁「訪日外国人消費動向調査 2014年 年間値」

Introduction

外国人観光客市場への挑戦

訪日観光客の増加は、観光資源の発掘はもちろん、新たなビジネス機会や雇用の創出など
日本の地域活性化につながる大きな可能性を秘めている。
今号では、イオンがインバウンド対応を進めるうえでの強みやその可能性について考察する。

アジアの国々をつなぐ グローバルリテイラーとして

訪日外国人観光客2，000万人を目標に、日本が国をあげてインバウンド対応の強化を図るなか、イオンがその強みをいかすことのできるポイントは大きく3つあるだろう。1つ目は、ショッピングモールや総合スーパー（GMS）の豊富な品揃えやサービスを通じてモノ・コトをワンストップで効率よく提供できること、2つ目は、地方自治体や地域の方々と築いてきた信頼関係をベースに地域ごとの特徴に応じたサービスを提供できること、そして、アジア各国で展開する事業会社と連携した取り組みが可能であることの3つである。これらにもとづき、イオンは日本と各国のお客さまをつなぐため、インバウンド対応を本格化している。

海外からのお客さまに対するサービスを充実させるには、さまざまな経験・知識を集結し、グループをあげて取り組むことが効果的だ。まず、クルーズ船乗客の受け入れなどを約7年前から先行して進めていたイオンリテール㈱内に「インバウンドチーム」が発足した。また、ショッピングモールを展開するイオンモール㈱は日本全国にある約150モールのなかで、特に海外からのお客さまの来店が見込める37モールに「インバウンド推進リーダー」を配置。グループ各社でもそれぞれ担当者を定め、互いに連携を進めている。この連携により、取り組み方針の策定やインフラ整備などグループ全体で対処すべき課題と、店舗・モール単位で現場が主導して対処すべき課題とに分け、迅速に対応できるようになった。現在、集客・商品・免税・表示を中心にグループ対応の強化を図っている。

また、訪日外国人の方々に向けてイオンの店舗やサービスなどの情報を発信するグループのウェブサイト「ENJOY AEON!」の充実を図り、日本のイオンでの買物やサービスをより楽しんでいただけるよう取り組んでいる。

ウェブサイト「ENJOY AEON!」

Tax Free

日本全国にあるイオンの総合スーパーの免税対応店舗

500店舗

（2015年7月末現在）

免税手続きを短時間で終えられる

日本円引き出しや外貨両替も可能

さまざまな相談ができる

買物 環境

ワンストップで快適に

旅の楽しみのひとつである「ショッピング」への期待に応えるべく、イオンは快適で便利な買物はもちろん、ショッピングモールや店舗で充実した時間を過ごしていただけるよう取り組んでいる。

スムーズな免税手続き

豊富な品揃え

便利な金融サービス

バラエティに富む料理

日本語が話せなくても安心

アミューズメント施設、イベントが充実

食品や日用品、衣料から医薬品まで何でも揃う

広々とした空間でゆっくり食事を楽しめる

楽しい時間を過ごせる

豊富な品揃えとワンストップの便利さを提供

バラエティに富んだ店舗が並び、便利なサービスが一カ所で揃うショッピングモールや総合スーパー（GMS）は、滞在時間の限られた海外からのお客さまにとっても強い味方となるだろう。実際、外国人観光客の買物場所の第1位が「スーパー・ショッピングモール」という統計結果※1もある。

イオンは、GMSで食品、衣料、生活用品、また化粧品、医薬品など「安全・安心」な商品を豊富に取り揃え、さまざまな国籍のお客さまのニーズにお応えする。また、モールには多彩な料理を手軽に楽しめるレストランやフードコート、アミューズメント施設なども充実。これらに加え、フリーWi-Fiの導入やイオン銀行ATMでの海外発行カードによる日本円引き出し、外貨両替の対応など、海外からのお客さまにより快適に過ごしていただけるよう、グループインフラを活用しながらサービスの強化を図っている。免税対応もそのひとつ。昨年10月の消費税免税制度※2改正により、免税対象商品は、家電などの「一般物品」に加え、食品や化粧品、薬品などの「消耗品」にまで拡大。イオンで扱うほとんどの商品が対象になった。そこで免税手続きをスムーズに行うため、グループのIT機能を担うイオンアイビス㈱がイオン独自のシステムを構築。GMSではパスポートとレシートをスキャンするだけで書類が完成。手続きにかかる時間を大幅に短縮した。また、本年4月の法改正で、免税手続きを代行業者が行えるようになったことを受け、イオンモール㈱は成田と沖縄ライカムの2つのモールを皮切りに、モール内の専門店（免税対応店舗）の手続きを一括で行う「免税カウンター」を稼働。このほか、外国語を話せる従業員の配置や電話通訳サービスの導入、店内表示のピクトグラム化・多言語化も進めている。

イオンは、グループに小売やディベロッパー、金融、サービスなど多様な事業を有する総合力をいかし、海外からのお客さまに店舗やサービスを安心して利用していただけるよう各社が連携、シームレスなサービスを提供していく。

※1 観光庁「訪日外国人消費動向調査 2014年 年間値」

※2 正式名称は輸出物品販売場制度

各地域での展開 II

日本全国で発見や喜びを

外国人観光客に対する調査※1では、訪日旅行全体について実に9割超が「大変満足」「満足」と回答しているという。リピーターも5割強にのぼり、日本での行動範囲もますます広がっている。イオンは日本各地に立地する店舗を通じ、その土地ならではの魅力を発信すべく地域との連携を進めている。

※1 観光庁「訪日外国人消費動向調査 2014年 年間値」

〝魅力ある観光地域づくり〟に貢献

本年7月、鳥取県の境港に中国から大型客船が初寄港。約4,700人の乗客が周辺の観光地やイオンモール日吉津（ひえづ）などを訪れ話題となった。外国人観光客の訪問先は大都市にとどまらず徐々に日本各地へと拡大。これを地方創生につなげるべく、自治体も外国人観光客への対応力強化や〝魅力ある観光地域づくり〟を図っている。地域社会への貢献を理念に掲げるイオンもまた、こうした地域との連携強化を図っている。

空港や港などの日本の玄関口や観光地、主要都市の駅直結といった立地にあるイオンのモールや店舗においては、観光案内所や宿泊施設への店舗紹介パンフレットの常設、旅行会社との連携を進め、外国からのお客さまにも便利に利用していただける施設としての認知度向上を目指している。また、観光客の方々がその地域で充実した時間を過ごせるよう、商店街との連携や祭りなどのイベントを盛り上げるなど、地元の方々とともに取り組んでいる。

日本全国

17 4モール※2

（2015年7月末現在）

※2 名称が「イオンモール」のSCに加え、総賃貸面積20,000㎡以上のものを含む

Hokkaido

道北の拠点である旭川駅に直結。外国人観光客増加に対応し、5カ国語対応のタッチパネル式フロアマップを導入

イオンモール旭川駅前
（本年3月オープン）

空港や駅近郊

Chiba

空港に近いという立地から、外国語を話せる従業員の配置や店舗表示の多言語化などにもいち早く対応

イオンモール成田

Kyoto

館内随所に、京都独特の商家である町家を彷彿とさせるデザインを散りばめ、古都・京都の景観との調和を図る

イオンモール京都桂川

観光地近郊

Okinawa

土産物や伝統工芸品、かりゆしなど、沖縄ならではの品揃えが充実。伝統芸能のイベントも開催

イオンモール沖縄ライカム
（本年4月オープン）

Shizuoka

富士山五合目への登山バスが出発する富士宮駅から徒歩約3分。富士山観光のお客さまにも対応

イオンモール富士宮

その土地ならではの魅力を発信

イオンに来店される外国籍のお客さまは、使用言語に加え、その訪日目的もさまざま。なかには居住者の方もいる。その特徴は店舗によっても異なり、ニーズも変わってくる。重要なのは、それぞれの地域特性に合わせて対応することだ。そこで「インバウンドチーム」では、海外からのお客さまが購入された免税商品のデータを分析。グループ各社と共有するとともに、メーカーやテナント、地域の方々とも情報交換しながら、店舗ごとのきめ細かな品揃えやサービスの拡充を図っている。

本年4月にオープンしたイオンモール沖縄ライカムでは、伝統芸能を鑑賞できるイベントの開催、県産品を使用した土産物や伝統工芸品をはじめとする商品のセレクトショップ「美ら音（ちゅらおん）.net」、GMSでの沖縄ブランドのリゾートスタイルの提案などを通じ地域の魅力を発信している。

観光はもちろん、イオンでの体験が、旅の大切な思い出のひとつとなるよう、その土地ならではの店舗づくりやサービスの充実をさらに進めていく。

アジア各地で日本の
地域の魅力をPR
「三重県フェア」（マレーシア）

地域
と連携

「海外旅行博」のイオンブース（香港）

国や企業
と連携

展開国数
13
カ国
（日本含む）

海外での情報発信 Ⅲ

海外拠点をいかし日本の魅力をPR

海外の方々に日本の魅力を伝える際、フェイストゥフェイスでの交流や、
産品に直接触れ、味わうという体験は何ものにも代えがたいもの。
統計※によれば訪日外国人の約8割はアジア各国からの方々。
イオンはアジアに広がる店舗ネットワークを通じ、各地域のお客さまに、
訪日そしてイオンへの来店を直に PRする取り組みを続けている。

※ 日本政府観光局「2014年訪日外客数」

海外の
店舗
の活用

店舗で「ENJOY AEON!」の
ポスターを使ってPR（香港）

グループ
企業
が連携

海外のカード会員数
約1,100万人
（2015年6月末現在）

右上／カード会員さま向けのパンフレット（台湾）
左／イオンタナシンサップの店舗でも
「ENJOY AEON!」のウェブサイトなどを紹介（タイ）

海外のイオンファンに日本と日本のイオンを紹介

本年5月30日、インドネシアにイオンのモール1号店がオープンし、連日多くのお客さまで賑わっている。日本はもちろん、ASEAN、中国にも日々イオンの店舗やサービスをご利用のお客さまが存在する。こうしたお客さまに向け、アジア各地のグループ企業が連携し、日本と日本で展開しているイオンの店舗を紹介する取り組みを進めている。イオンストアーズ香港の店舗では「ENJOY AEON!」のポスターを掲示し、日本を訪れる際にも馴染みのあるイオンで安心して買物ができることをPRするとともに、免税対応などの海外旅行者向けのサービス拡充の取り組みを紹介。

また、アジア各地で金融事業を展開し、1,100万人以上のカード会員や営業ネットワークを有する強みをいかし、情報発信の強化も図っている。香港のイオンクレジットサービス（アジア）では、会員の方々に向け、日本のイオンでの買物に特典を提供。台湾でも同様の取り組みを実施。

イオンタナシンサップ（タイランド）では、提携カードを発行しているタイ国際航空の搭乗者に日本のイオンを紹介している。

各国でこれまで培ってきたお客さまからの信頼や地元企業との連携のもと、積極的に日本やイオンの魅力を発信し、「日本へ行ってみたい」という潜在的なニーズの掘り起こしを図っていく。

自治体とともに日本の魅力を発信

イオンは、アジア各地の店舗で日本各県の物産展などを開催。現地のお客さまが日本の各地域の魅力に触れるきっかけを提供している。特産品や観光名所を直接アピールでき、認知度向上につながることから、参加自治体や生産者の方々からも好評で、積極的にご協力いただいている。本年7月には、アセアン事業を統括するイオングループアセアン本社（イオンアジア）が関西の7府県・4政令指定都市から成る関西広域連合と包括連携協定を締結。イオンアジアにとって日本の自治体との協定締結はこれが初めてで、今後、双方の持つネットワークや産品などの資源をいかした連携を強化していく。

このほか、世界各地で開催される「海外旅行博」「日本フェア」などのイベントにも積極的に参加し、イオンのブースを構えている。今後はメーカーなどの取引先企業や自治体と連携したPR活動も展開する。

国を越えた相互交流を促進

2020年の東京でのオリンピック・パラリンピック開催に向け、日本の外国人観光客誘致の取り組みはいっそう強化されていくだろう。イオンも世界各地からのお客さまにご満足いただけるようインバウンドの取り組みを進化させていく。しかし2020年はゴールではなく通過点にすぎない。その先もずっとお客さまを引きつけ、日本と中国、ASEANをはじめとする各国・各地域の発展と人々の交流促進に寄与すべく取り組んでいく。

亀澤 博文氏
関西広域連合
広域観光・文化振興局
観光課長

Voice 海外のお客さまへ、ともに関西の魅力を発信

行政には“県境”がありますが、観光客の方々にとっては関係のないこと。そこで当広域連合では府県の枠を越え、関西地域一体となったインバウンド観光振興に取り組んでいます。イオンアジアとの連携を通じ、我々が有する食文化や観光資源の魅力と、イオンがASEANでの事業を通じて蓄積したノウハウをいかし、継続的に外国人観光客誘致を進めていきたいですね。

本年7月の協定締結前から、イオンの
海外店舗でのイベントを開催。写真
は、2014年のマレーシアでの観光展

AEON SUSTAINABLE ACTIVITIES

サステナブル（持続可能）な社会を目指して。地域の皆さまとともに、環境保全・社会貢献活動を続けています。
（2015年4月〜6月）

環境保全

第1回「北海道 厚真町植樹」を実施

6月13日、（公財）イオン環境財団は、北海道勇払郡厚真町とともに植樹活動をスタート。地域の皆さまや日本全国からボランティアの方々合計約550人が参加しました。同町の基幹産業である農業や地域の生活を守るため、森林が持つ水源涵養機能の回復を目指し、3年で約1万7,000本の植樹に取り組みます。

雨のなか、地域に自生する樹種を植樹

カンボジア最大級の野生生物保護園で3カ年計画の植樹をスタート

（公財）イオン環境財団は6月27日、第1回「カンボジアプノンペン植樹」を実施。市民の憩いの場として親しまれるプノンタマウ野生生物保護センターで、日本とカンボジアのボランティア合計730人の方々と、地域に自生する樹種7,000本を植えました。内戦や生活伐採により荒廃した森林の再生と生物多様性の保全を目指します。

カンボジアプノンペン植樹

社会貢献

ネパール地震からの復興に向けた募金を贈呈

（公財）イオンワンパーセントクラブは、ネパールでの大地震を受け、4月30日、1,000万円の緊急復興支援金を在日ネパール大使館に贈呈。さらに、4月28日から5月10日までグループの店舗など約9,600カ所で復興支援募金活動を実施。皆さまからお寄せいただいた募金と、同財団からの同額の拠出金の合計1億874万8,194円を、5月19日に寄付しました。

在日ネパール大使館にて復興支援金を贈呈

ペットボトルキャップでアジアの子どもたちの健やかな成長を支援

イオンは「ペットボトルキャップで世界の子どもたちに笑顔を!!」キャンペーンの一環として、日本全国のグループ店舗約650カ所でペットボトルキャップを回収。2013年8月21日から2015年2月28日までにお寄せいただいた2億8,458万7,000個の売却金389万8,572円を、5月21日、「（公財）プラン・ジャパン」「（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」の3団体に贈呈しました。

3.11 復興への願いをカタチに

イオンは、被災地の復興と「夢のある未来」の実現に向け、お客さまと手を携え、さまざまな取り組みを行っています。

2015年度ボランティア活動を開始

イオンは、従業員とその家族による被災地でのボランティア活動を続けています。4月22日から24日、58回目となる2015年度最初の活動を実施。福島県南相馬市の避難指示解除準備区域で竹の伐採などを行いました。

生長した竹の伐採や枝打ちなどを実施

岩手・宮城・福島の子どもたちの生活、就学を支援

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」「東北復興支援WAON」ご利用金額からの拠出金やお客さまからの募金などを合わせた寄付金約9,940万円を岩手・宮城・福島3県に贈呈。子どもたちのためにお役立ていただきます。

3月9日から11日に実施した「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」

暮らしの風流 尊ぶ―財布

◉さいふ

日々の暮らしのなかで
心に潤いをもたらしてくれる雑貨には、
次世代に受け継いでいきたい
伝統や文化が息づいています。
日本、中国、ASEAN地域の、魅惑の品々…。
今回は、使う人の個性が表れる
日常生活の必需品「財布」を紹介します。

ココがポイント
小銭を取り出しやすい開口部

日本
西洋のバッグをアレンジした「がま口」財布

ガマガエルが大きく口を開けたように見えることから名付けられた「がま口」の財布は、西洋の口金式ハンドバッグをヒントにして、明治時代に日本で生まれたもの。主に小銭入として用いられ、手のひらサイズのものが主流です。

ベトナム
さまざまな種類の紙幣がたっぷり入る長財布

硬貨よりも紙幣を使うことが多いベトナムでは、長財布が一般的。多彩な糸で表現するベトナム刺繍入りのものも多く、その柄は王宮で生まれたものから少数民族に伝わるものまで豊富です。

ココがポイント
北部の少数民族に伝わる幾何学模様

ココがポイント
祝い事に好まれる「福」などの文字

中国
富裕層が持ち歩いた巾着袋

秦の時代からおよそ1,000年の間、穴の開いた硬貨が流通した中国。商人などの裕福な人たちは、ひもに通してまとめた硬貨を華やかな生地でつくった巾着袋に入れて携帯しました。現代では、旧正月や祝い事で貴金属などを贈る時などに使われています。

GROUP NEWS

2015年4月 〉〉〉 6月

4.1

Corporate Initiatives

子育てと仕事の両立を応援する「イオン放課後教室」開校

イオンリテール㈱は、イオンマリンピア専門館（千葉県）とダイエー成増店（東京都）に、学童保育を行う「イオン放課後教室」を開校。地域のお客さまの子育てと仕事の両立をサポートするとともに、子どもたちの可能性が広がるよう、体育・知育・徳育・食育で構成する豊富なプログラムを通した総合学習を提案します。

イオン放課後教室

土日祝日も開校する
「イオン放課後教室」
（ダイエー成増店）

4.28

Global Initiatives

ミニストップ㈱、ベトナムで双日㈱と協業

ミニストップ㈱は、ベトナムにおける事業のさらなる発展を目指し、同国での豊富なビジネス経験を有する双日㈱との協業を発表。現地資本の事業運営会社であるミニストップベトナム社に対する店舗展開の支援、商品開発の強化を通じ、今後10年間で800店舗以上の店舗網を確立し、コンビニ市場および小売市場でのマーケットシェア拡大を目指します。

5.29

Corporate Initiatives

農業を通じた地方創生モデル事業の確立を目指し産官学が連携

イオンリテール㈱は会津若松市、東京農業大学と連携し、次世代型食品生産トライアル事業をスタート。栄養価や機能性の高い野菜の開発や鮮度維持など、新たな生産技術の開発に取り組み、同市産農産物のブランド化の促進、雇用創出を図るとともに、地方創生モデル事業の確立を目指します。

5.30

TOPVALU グリーンアイ

6月5日、
日本のプライベートブランド（PB）商品では
初となる完全養殖の本まぐろ
「トップバリュ グリーンアイ 奄美うまれ生本まぐろ」を発売。

Global Initiatives

インドネシアにイオン1号店「イオンモールBSD CITY」誕生

インドネシア・ジャカルタ南西部に「イオンモールBSD CITY」が誕生。総合スーパーのイオンBSD CITY店を核に、約280店舗の多彩な専門店が出店。中間所得層の消費拡大にともない多様化する地域のお客さまのニーズにお応えし、ワンストップショッピングの利便性と新たなライフスタイルを提案していきます。

インドネシア1号店「イオンモールBSD CITY」

6.1

Corporate Initiatives

高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバルに参加

イオンは高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバルと、陸上自衛隊が実施する物資輸送訓練に参加しました。被災による被害の軽減や早期回復に向け、グループをあげて自主訓練を継続的に実施し、災害時の物資提供や復旧活動への協力を含む地域包括協定を日本全国の自治体と締結。地域産業である小売業としての責任を果たすべく、地域との連携を深めています。

陸上自衛隊と連携した物資輸送訓練

6.7

イオンの電子マネー「WAON」

4月5日発行
「しものせき晋作WAON」

4月28日発行
「MORIO-Jカード」

4月23日発行
「となみチューリップWAON」

2007年に誕生した「WAON」。
累計発行枚数は6月末時点で約5,080万枚に。
2009年にスタートした「ご当地WAON」は、
4月28日発行の「MORIO-Jカード」で
100種類を突破した。

6.11

Corporate Initiatives

日本全国の「イオンシネマ」約30会場をつなぎ、ダイバーシティ研修を開催

イオンは、ダイバーシティ経営の実現に向け、グループ企業の管理職を対象とした研修をスタートしました。社外有識者による講演と研修テーマに沿った映画鑑賞のあと、その内容を受けたディスカッションを実施。約1,000名が、1年間で4つのテーマの研修を受講する予定です。初回の6月11日には、研修冒頭で、小売業として初めて「イクボス企業同盟」に加盟したイオン㈱と㈱ダイエーによる「イクボス企業行動方針」表明が行われました。

「イオンシネマ」を中継で結び、
研修を開催

ダイバーシティがうみだす
「従業員・家族」
「お客さま」「会社」の満足
＝"ダイ満足"を
表すシンボルマーク

6.20

Corporate Initiatives

㈱ダイエーの新業態「フードスタイルストア」開店

㈱ダイエーは都市型戦略業態「フードスタイルストア」1号店として、ダイエー赤羽店（東京都）をリニューアル。会話を楽しみながら買物できる生鮮売場に加え、植物の力を取り入れたライフスタイルを提案する「ボタニカルショップ」、健康と美容をおいしくサポートする「ジュースバー」などを展開。こだわりの商品に加え、食を楽しむための専門的な情報を提供していきます。

"つくりたて"にこだわった
「ジュースバー」

Global Initiatives

㈱イオンファンタジーが店舗数・売上高とも業界で世界No.1企業に

㈱イオンファンタジーは、㈱ダイエーの子会社である㈱ファンフィールドとの経営統合により、アミューズメント施設運営業界で店舗数・売上高ともに世界でNo.1となりました。同社は統合による相乗効果を発揮しながら、アジア各国での展開をいっそう加速するとともに新業態の開発に取り組み、さらなる成長を目指します。

㈱イオンファンタジー700店舗目となる
イオンファンタジーキッズーナイオンモール
BSD CITY店（インドネシア）

グループ企業一覧

太字は株式公開企業　○は持分法適用関連会社　●は友好提携会社

【純粋持株会社】
イオン㈱

【GMS（総合スーパー）事業】
イオンリテール㈱
イオン北海道㈱
㈱サンデー
イオン九州㈱
イオンスーパーセンター㈱
イオンバイク㈱
イオンベーカリー㈱
イオンリカー㈱
イオン琉球㈱
㈱ジョイ
トップバリュコレクション㈱
㈱ボンベルタ

【SM（スーパーマーケット）・DS（ディスカウントストア）事業】
ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス㈱
マックスバリュ西日本㈱
マックスバリュ東北㈱
マックスバリュ東海㈱
マックスバリュ中部㈱
マックスバリュ北海道㈱
マックスバリュ九州㈱
○ **㈱いなげや**
○ **㈱ベルク**
○ **㈱ワンダーコーポレーション**
アコレ㈱
㈱アシーネ
㈱アルティフーズ
イオンビッグ㈱
イオンマーケット㈱
㈱オレンジフードコート
㈱鹿児島サンライズファーム
㈱カスミ
㈱カスミグリーン
㈱カスミトラベル
㈱クリエイト
㈱協栄エイアンドアイ
㈱光洋
㈱山陽マルナカ
㈱消費経済研究所
㈱食品品質管理センター
㈱ダイエー
㈱ダイエースペースクリエイト
㈱中合
㈱日本流通リース
㈱ビッグ・エー
㈱ビッグ・エー関西
㈱ファンフィールド
㈱ボンテ
マックスバリュ関東㈱
マックスバリュ長野㈱
マックスバリュ北陸㈱
マックスバリュ南東北㈱
㈱マルエツ
㈱マルエツ開発
㈱マルエツフレッシュフーズ
㈱マルナカ
㈱マーノ
㈱レッドキャベツ
㈱ロジワン
㈱ロベリア
㈱ローズコーポレーション
㈱OPA
丸悦（香港）有限公司
丸悦（无锡）商贸有限公司
永旺美思佰乐（广州）商业有限公司
永旺美思佰乐（江苏）商业有限公司
永旺美思佰乐（青岛）商业有限公司
○ ㈱いちまる
○ ㈱セイブ
○ ㈱テンダイ
○ ㈱日本流通未来教育センター
○ ㈱ワンダーネット

【小型店事業】
ミニストップ㈱
オリジン東秀㈱
ネットワークサービス㈱
まいばすけっと㈱
MINISTOP KOREA CO., LTD.
MINISTOP VIETNAM COMPANY LIMITED
青岛迷你岛便利店有限公司
○ ROBINSONS CONVENIENCE STORES, INC.

【ドラッグ・ファーマシー事業】
㈱CFSコーポレーション
ウエルシアホールディングス㈱
○ **㈱メディカル一光**
● **㈱ツルハホールディングス**
● **㈱クスリのアオキ**
ウエルシア介護サービス㈱
ウエルシア薬局㈱
シミズ薬品㈱
タキヤ㈱
联华每日鈴商业（上海）有限公司
○ ㈱ウェルパーク
○ ㈱ザグザグ

【総合金融事業】
イオンフィナンシャルサービス㈱
AEON信貸財務（亞洲）有限公司
AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC.
AEON CREDIT SERVICE(M)BERHAD
○ **イオンリート投資法人**
㈱イオン銀行
イオンクレジットサービス㈱
イオン少額短期保険㈱
イオン住宅ローンサービス㈱
イオンプロダクトファイナンス㈱
イオン保険サービス㈱
イオン・リートマネジメント㈱
エー・シー・エス債権管理回収㈱
フェリカポケットマーケティング㈱
ACS CAPITAL CORPORATION LTD.
AEON Insurance Service (Thailand) Co., Ltd.
ACS SERVICING(THAILAND)CO.,LTD.
ACS TRADING VIETNAM CO.,LTD.
AEON CREDIT SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED
AEON CREDIT SERVICE (PHILIPPINES) INC.
AEON CREDIT SERVICE SYSTEMS (PHILIPPINES) INC.
AEON Leasing Service (Lao) Company Limited
AEON MICROFINANCE(CAMBODIA)PRIVATE COMPANY LIMITED
AEON MICROFINANCE (MYANMAR) CO.,LTD.
AEON MICRO FINANCE (SHENZHEN) CO.,LTD.
PT.AEON CREDIT SERVICE INDONESIA
沈阳金融商贸开发区永旺小额贷款有限责任公司
台灣永旺財務服務股份有限公司
台灣永旺信用卡股份有限公司
天津永旺小额贷款有限公司
永旺保險顧問（香港）有限公司
永旺金融服務（香港）有限公司
永旺信用担保（中国）有限公司
永旺资讯服务（深圳）有限公司

【ディベロッパー事業】
イオンモール㈱
イオンタウン㈱
AEON MALL HIMLAM CO., LTD.
AEON MALL VIETNAM CO., LTD.
AEON MALL (CAMBODIA) CO., LTD.
PT. AEON MALL INDONESIA
PT. AMSL DELTA MAS
PT. AMSL INDONESIA
永旺梦乐城经开（武汉）商业管理有限公司
永旺梦乐城苏南（苏州）商业管理有限公司
永旺梦乐城优雅（北京）商业管理有限公司
永旺梦乐城优雅（天津）商业管理有限公司
永旺梦乐城（广东）商业管理有限公司
永旺梦乐城（广州白云）商业管理有限公司
永旺梦乐城（湖北）商业管理有限公司
永旺梦乐城（江苏）商业管理有限公司
永旺梦乐城（苏州）商业管理有限公司
永旺梦乐城（天津）商业有限公司
永旺梦乐城（中国）商业管理有限公司
永旺梦乐城（中国）投资有限公司
永旺梦乐城（浙江）商业管理有限公司
永旺梦乐城（武汉）商业管理有限公司
○ L.A.Style株式会社

【サービス・専門店事業】
〈サービス事業〉
イオンディライト㈱
㈱イオンファンタジー
㈱ツヴァイ
㈱イオンイーハート
イオンエンターテイメント㈱
イオンカルチャー㈱
イオンコンパス㈱
イオンディライトアカデミー㈱
イオンディライトセキュリティ㈱
イオンディライトセレス㈱
イオンライフ株式会社
エイ・ジー・サービス㈱
㈱カジタク
環境整備㈱
関東エンジニアリング㈱
㈱ジェネラル・サービシーズ
㈱ドゥサービス
リフォームスタジオ㈱
Aライフサポート㈱
FMSソリューション㈱
AEON DELIGHT (MALAYSIA) SDN.BHD.
AEON DELIGHT (VIETNAM) CO., LTD.
AEON Fantasy Group Philippines,INC.
AEON Fantasy Holdings (Thailand) Co.,Ltd.
AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN.BHD.
AEON Fantasy (Thailand) Co.,Ltd.
PT AEON FANTASY INDONESIA
大连东软信息服务有限公司
苏州日富电梯设备工程有限公司
苏州上品洗涤服务有限公司
苏州仲联物业管理有限公司
永旺幻想（中国）儿童游乐有限公司
永旺一心餐饮管理（青岛）有限公司
永旺永乐（杭州）服务外包有限公司
永旺永乐（中国）物业服务有限公司
永旺永乐苏房（苏州）物业服务有限公司
永旺永乐泰达（天津）物业服务有限公司
武汉小竹物业管理有限公司
〈専門店事業〉
㈱ジーフット
㈱コックス
○ **㈱タカキュー**
アビリティーズジャスコ㈱
㈱イオンフォレスト
イオンペット㈱
㈱イオンボディ
クレアーズ日本㈱
コスメーム㈱
タルボットジャパン㈱
ブランシェス㈱
㈱未来屋書店
㈱メガスポーツ
メガペトロ㈱
ローラアシュレイジャパン㈱
AT ジャパン㈱
R.O.U㈱
芙嘉（上海）商贸有限公司
羅蘭爱思亞洲有限公司
美嘉斯波（北京）商贸有限公司
新脚步（北京）商贸有限公司
台灣洛拉股份有限公司
泰波姿（上海）商贸有限公司
永娃（北京）宠物用品有限公司

【デジタル事業】
イオンダイレクト㈱
イオンリンク㈱

【国際事業】
〈中国〉
永旺（中国）投资有限公司
永旺（香港）百货有限公司
广东永旺天河城商业有限公司
青岛永旺东泰商业有限公司
永旺华南商业有限公司
永旺华东（苏州）商业有限公司
永旺（湖北）商业有限公司
永旺商业有限公司
〈ASEAN〉
AEON ASIA SDN. BHD.
AEON CO. (M) BHD.
AEON BIG (M) SDN. BHD.
AEON INDEX LIVING SDN. BHD.
AEON (CAMBODIA) Co.,Ltd.
AEON(Thailand) CO., LTD.
PT.AEON INDONESIA
〈ベトナム〉
AEON VIETNAM Co., LTD
DONG HUNG INVESTMENT DEVELOPMENT CONSULTANCY JOINT STOCK COMPANY LIMITED
○ FIRST VIETNAM INVESTMENT JOINT STOCK COMPANY

【機能会社等】
○ **㈱やまや**
イオンアイビス㈱
イオンアグリ創造㈱
イオングローバルSCM㈱
イオン商品調達㈱
イオントップバリュ㈱
イオンフードサプライ㈱
イオンマーケティング㈱
コルドンヴェール㈱
㈱生活品質科学研究所
AEON GLOBAL SCM SDN.BHD.
AEON TOPVALU MALAYSIA SDN.BHD.
AEON TOPVALU (HONG KONG) CO., LIMITED
AEON TOPVALU (THAILAND) CO.,LTD.
AEON信息系统集成（杭州）有限公司
Tasmania Feedlot Pty. Ltd.
永旺环球（北京）国际货运代理有限公司
永旺特慧優国际贸易（上海）有限公司
○ イオンデモンストレーションサービス㈲

■（公財）イオンワンパーセントクラブ
■（公財）イオン環境財団
■（公財）岡田文化財団

2015年5月末現在